

がんばろう
末崎!

津波なんかには
負けない!

館報まっさき

第256号
平成28年3月22日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話 (F 兼) 29-2955

末崎の風土散策 (45)

～六地蔵さまについて～ その2

2 西館には山根と泊里の分岐点、磯澤橋の向かい角の山際に鎮座している、セメントで固めた石垣の上に多くの石碑が並べられており、その前に5体の地蔵さまが身全体を赤い衣で包まれ、顔と頭を出して、東向きに安置されている。この衣は以前には近くの細川さん、及川さん、山本さん達が古くなったり、色が褪めたりの時祈りに作り替えていたが、



3. 11大津波後
1体減った西館の六地蔵
=平成28年1月=

この頃は地域婦人部の方々や、中井仮設の大和田恵美子さん達を中心になって着せ替えているという。この地蔵さまは古く建立年月や誰が祀ったかは不明であり、高さは43センチの船形石に浮き彫りされた石碑である。現在は六地蔵さまは、1体減って5体並んでいるが、これは平成23年3月11日の大津波の際、海岸から300メートル程離れた場所であるが、侵襲した波の圧力で押し倒され流失したので、近くの人達が探し回ったが、残念ながら見つからない。地域の方達の話では、この津波で行方不明になった人達を救うため、慈悲深い手を広げ探し回っているのではと、ささやかれている。また、昭和初期の話として、或る酒好きの方が酔って楽しくなったためか、または力自慢のためか、それとは別に大きなお願いのためか、重い地蔵さまの1体を背負い約500メートルもある自宅までの距離を運んだという。そして酔いが醒めてから、また元の場所まで背負って返したという大変力持ちの実話が伝えられている。



西館の猫供養碑
気仙地方では珍しい
=平成28年2月=

なお、この地蔵さまの南寄りに気仙地方では極めて珍しい猫を祀った猫供養碑が建っており、高さは54センチで浮彫となっている。これは西館の屋号「角」の大和田庄右衛門さん(大和田東江さんの曾祖父)が、明治時代に建立したものである。(聖)

トマト水耕栽培企業進出

このほど小河原地区被災跡地でトマトの水耕栽培をしたという企業(現在岩手県紫波郡紫波町でトマトの水耕栽培をしている銀河農園)が現れた。このことについて、末崎町復興推進委員会は常任委員会で審議し受け入れることとした。

これまで小河原地区被災跡地の利活用については、大船渡市復興局土地利用課と末崎町復興推進委員会(常任委員会)で検討、協議を重ねてきました。昨年の12月までは、国の復興交付金等の活用から多目的の広場しか方法がない状態でありました。今年1月28日の常任委員会で市当局よりトマト水耕栽培企業がこの地でトマトの水耕栽培をしたい意向であるが検討していただけないか、との提案がありました。地域に新たな産業がでること

により住民の雇用拡大がはかれることや経済効果も大きく、地域の活性化が期待できることから直ちに検討することとした。
2月17日には、当該の企業の説明会を開き、事業内容やこの事業にかける意気込みを伺った。企業側の説明では、進出理由はトマトは暑さに弱いので栽培には、夏涼しいのがいい。この地は夏涼しく冬暖かく比較的寒暖の差が少ないこと。これから道路網も整備され、宮城を含めた三陸沿岸地方および岩手の内陸まで販路を拡大できること。また、最先端の施設設備を備え、ヨーロッパでも評価の高い新種などを栽培し、付加価値を高め差別化をはかって収益を上げていきたい。雇用については、前8時30分～午後3時まで

で、子育て中の方には、保育園や小学校に通う子供の送り迎えができるよう配慮している。さらに、騒音や排水による水質汚染もなく環境に影響がないこと。企業経営の精神としては、従業員あつての企業であり、常に従業員の皆さんの働きやすい環境づくりは勿論のこと、地域の発展に貢献し地域の皆様とともに企業を成長させていきたいと考えているので受け入れていただきたいとのことであった。
3月15日、常任委員会を開き、前記のとおり企業の進出理由および意気込み、もたらす効果等について審議し、進出を全員一致で可とした。
なお、住民説明会は、市当局と協議の上でできるだけ早く開催したいと思っておりますのでご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

☆スポーツ大会結果

◇なかよし親善ラージボール卓球大会

2月23日、ふるさとセンター体育室でなかよし親善ラージボール大会が行われました。この大会には、男女28人が参加し、ダブルス戦で行われました。スポーツを通じて、健康づくりと交流を狙いとして毎年開催しています。

敬称省略

- 1位 澤下 隆
- 大友 ミイ
- 2位 細川 恵子
- 田畑 タカ
- 3位 大和田三男
- 藤畑 富子

◇シャトルボード大会

2月26日、ふるさとセンター体育室でシャトルボード大会が行われました。健康づくりとストレス解消を目的に、11月から開催されているシャトルボード教室の受講者を中心に熱戦が繰りひろげられました。

敬称省略

- 1位 及川 タキ
- 2位 小松 三男
- 3位 田畑 基雄

☆デジタル公民館まっさき

活動のご案内

◇平成28年度活動について

5月・8月・10月・12月の4回、『パソコン・インターネットによる相談』と『学びと交流』の活動で引き続き末崎を訪問させていただきます。

◇デジタル公民館

ITボランティア活動報告会

テレビ会議システムでふるさとセンターと霞が関ナレッジスクエアを結んで27年度活動の報告と28年度の計画を話し合います。

日時 3月26日(土)

14時～15時30分

場所 ふるさとセンター

◇インターネットによる

情報の発信のご案内

2月13日に行いました滝田医院滝田有院長の「第4回まちおもいトーク」の映像をウェブサイトに公開しましたのでご視聴ください。

滝田院長は不幸な男の半生、被災体験、医療活動の再建、これからの計画などについて、被告人みたいだといながら語りました。

☆自立再建住宅・災害公営

住宅・防災集団移転住宅

住民交流歓迎会・朝市

同時開催

日時 4月16日(土)

10時～14時

場所 居場所ハウス

内容 コンサート

・転居者他による

・歌・踊り

・餅・うどん煮しめ

のふるまい

・朝市など

当日は無料シャトルバスを運行します。

